

## 音羽川小学校の概要

- \* 昭和55年4月5日に音羽中学校の跡地施設をそのまま転用し、音羽小学校の分校として独立、開校となる。

## 校名の由来

- \* 学校の南側を流れる音羽川は、音羽山の山中より源を発し音羽に至って四の宮川に合流している、山科では由緒ある川の名を取り入れて、音羽川小学校と名づける。

## 校章の由来

- \* 中心に頭文字の「音」を配し、両翼に未来に希望を持ってはばたく二枚の『羽』が広がり、縦には清水の「川」をあしらい校名を象徴する。

## 通学の区域

- \* 北は、旧国道1号線の南側
- \* 東は、地蔵道の西（音羽小学校の前まで）・国道1号線の西（音羽小学校の南側より）
- \* 南は、音羽川の北
- \* 西は、四の宮川、外環状線より東側  
という主要な道路に囲まれた交通の要衝に位置している。

## 学校の沿革

昭和55年	4月	1日	音羽中学校の跡地施設を音羽川小学校として転用（創立）
		5日	音羽川小学校創立の式典を挙げる。（創立記念日）
		8日	第1回入学式を挙げる。（入学児童数 136名） 学級数21学級・育成学級1学級 計22学級 在籍児童数789名
		10日	給食室完成
昭和56年	3月		第1回卒業式を挙げる。（卒業生 192名）
	10月		開校記念植樹（800本）
昭和57年	1月		運動場に投てき板設置
	6月		中庭に学年別栽培園設置
昭和58年	11月		ランチルーム設置（南校舎2階西側）
	12月		花と造形の広場をつくる（中庭南側）
昭和59年	3月		岩石園・気象観測機器・禽舎等・理科学習園設置
	4月		育成学級が1学級増、2学級となる
	5月		修学旅行を野外教育センター「奥志摩みさきの家」に変更
	12月		陶芸窯設置（北校舎西倉庫内）
昭和60年	3月		運動場に「緑の山」設置
	4月		「フレンドリー活動」の推進校（2年間）
昭和61年	2月		音羽川の堤防に町別桜を植樹（PTA）
昭和62年	2月		「フレンドリー活動」推進校研究発表 第1回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
	3月		「遊びの部屋」を設置
	4月		造形砂場設置（運動場西側）
昭和63年	9月		耐震用防火水槽勃埋埋設（運動場）
平成 元年	6月		中庭グリーンゾーン完成 創立10周年の集い（児童会主催）全校で風船をあげる。 （音羽川学区誕生10周年記念事業委員会記念石碑建立）
	9月		全校内下水道配管工事完成
平成 2年	9月		器楽室の改築工事完成

			多目的室の改築工事完成
			会議室(ふれあいサロン)の改築工事完成
			和室の改築工事完成
平成	3年	2月	第5回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
		5月	5年生「野外教育活動」奥志摩みさきの家で実施
		11月	南校舎トイレ改築
		12月	卒業生「野外炊飯かまど」を作る(中庭西側)
平成	4年	3月	鳥小屋改修
平成	5年	5月	プール前広場の舗装
		6月	本館階段の手すり取付工事
平成	6年	3月	コンピュータールーム設置
		8月	本館大規模改修
平成10年			体育館改修
		12月	プール改修
平成11年		6月	音羽川小学校創立20周年記念式典
			記念品贈呈
		12月	運動場改修工事・築山の完成
平成12年		3月	コンピュータ機種更新
平成14年		4月	完全2足制実施
平成16年		1月	風力発電機設置
			三層式水槽設置
			百葉箱設置
平成17年		2月	第19回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成18年		7月	ビオトープ完成(体育館南側)
		8月	耐震工事完成
平成19年		2月	第21回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成19年		5月	ビオトープ周辺 芝生ランド完成・石碑の設置
平成20年		10月	家庭科室前面改修工事完成
平成21年		6月	音羽川小学校創立30周年記念式典
			記念品贈呈
平成22年		2月	第24回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成23年		10月	山科区民 花の回廊募金による植樹式典
			はなみずき(1本)植樹
平成24年		3月	北校舎トイレ改修(1階・2階)
平成25年		2月	全京都お話コンクールにおいて全学年6名入賞
平成26年		12月	東校舎2階に科学の広場開設
平成27年		2月	第29回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成27年		4月	東校舎1階に四ノ宮児童館分室を設置
平成28年		2月	第30回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成28年		7月	全校舎の全面リニューアル工事開始
			南校舎エレベータ設置, 北校舎3階トイレ新設
平成29年		2月	第31回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成29年		3月	全校舎の全面リニューアル工事終了